

令和2年度第1回ICT利活用促進モデル事業 採択事業一覧

NO	提案事業者	事業名	分野	事業概要	審査における評価ポイント等
1	アールエフ・アンテナ株式会社	プライベートLTEソリューション ー固定電話が消える日	A	ローカル5GやプライベートLTEの環境構築のイニシャルコストが高額となる要因であるEPC/HSSサーバーを自社製作し、コストを削減する。	今回構築するシステムを使い、市内企業がプライベートLTEの実証実験を行うこともできる。また、安価なサーバー作成により、企業などのプライベートLTE環境構築に寄与すると考えられる。
2	株式会社ヨコケン	ドローンを活用した測量業務と災害対策事業	B	①ドローンを活用し、土木工事現場の現場撮影と測量を行いICT化に対応する。 ②被災箇所の確認業務にドローンを活用して、被災状況の確認を安全かつ迅速に行うことができるか検証する。	市内の小規模事業者ではICT化が進みにくいなが、ドローン活用を含めて横展開していくきっかけになることができる。導入効果が高かった場合には、他の小中事業所の業務の一部を請け負っていくなど、他事業所とも協力体制を取っていけると良い。災害現場の確認を迅速に行うことで、地域貢献できる事業である。
3	カギカッコ	島田のみんなの自分ごと発信地 「島田ジブンゴト新聞」	A	①発信、認知、販促、販売までの機能を備えた「ホームページポータル」の作成 ②「ジブンゴト」を編集方針の軸とする「Webメディア」の作成 ③自分自身の活動を表現・発信する人を育てる「人材育成」	発信することを苦手としている人たちは多くいる。この媒体を活用して、島田を活気づける取組としてほしい。アクセス数を増やすための取組が重要となる。
4	第一電機工業有限会社	高齢者世帯を地域限定ネットワークで繋ぎ安心と楽しさを提供する	B	1画面構成、タッチパネル式のタブレット端末ソフトと制御盤を製作する。 地域の高齢者世帯にタブレット端末を設置し、代表者及び地域の高齢者世帯グループのコミュニケーションツールとする。 通信はインターネット回線を不要とするために、無線LANにて行う。	高齢者世帯同士が共助するためのシステムであり、従来の見守りシステムと異なる。地域との協力体制もあるため今後地域内へ波及する可能性もある。 導入の初期費用を抑えたシステム設計は、今後検討の余地がある。